

くらしのちえ

発行 東京都台東区東上野 4-5-6 台東区役所区民部くらしの相談課 TEL 03-5246-1144

インターネットトラブルにご用心

インターネットの普及に伴い、日常生活のデジタル化が進んでいます。ネット社会には国境がなく、世界中から様々な情報を得ることができるのでとても便利ですが、一方でトラブルが発生することもあります。トラブルに遭遇したときの対処法を身につけ、インターネットを上手に利用しましょう。

事例1 偽サイト

ネットでブランド品のバッグを検索し、公式サイトと記載があったので注文した。代金10万円を指定された個人名の口座に振込んだが、届いた商品は偽物で公式サイトを装っていたとわかった。

【詐欺的な偽サイトを見分けるポイント】

○▽ショップ <https://www.○▽shop.ne.jp>

URLの表記がおかしい

ブランドバック セール中
300,000円 → 100,000円

- ・事業者の住所を調べたら個人宅だった
- ・電話番号がない

会社概要

所在地：東京都台東区
連絡先：○▽shop.com

在庫あり（残り3点）

66%OFF!
大特価

大幅な値引きをしている

現金振込のみで
クレジットカード
の利用ができない

購入する

アドバイス

- ・偽サイトは連絡がつかないことが多く、被害回復は困難です。
- ・ブランドのロゴマークやショップ名だけで公式と判断せず、申込む前に確認しましょう。
- ・公式サイトに偽サイトの注意喚起が出ていないか確認しましょう。

事例2 定期購入

「初回 980 円・定期縛りなし」「しわがのびる」というサイトの広告を見て美容液を申込んだら、半月後に2回目の商品が2個届き1万円を請求された。事業者が注文していないと伝えたら「割引クーポンを利用したので4回の定期購入になっている」と言われた。

アドバイス

- ・購入回数、契約金額、返品条件等、広告の条件をよく確認しましょう。
- ・申込み前の最終確認画面を必ず確認しスクリーンショット等で記録を残しましょう。
- ・注文直後に表示される「割引クーポン」等を利用すると契約条件が変更になる場合があるので、注意が必要です。

ターゲティング広告とは

- ・どのサイトを見たのかネットの閲覧履歴（※**Cookie**）から、消費者の興味や関心を推測し配信される広告のこと。
- ・特定の対象にねらいを定めて広告します。

※ **Cookie** :

インターネットブラウザで閲覧情報などを保存するしくみ

- ・行動パターン
- ・閲覧履歴
- ・年齢
- ・性別
- ・居住地域

ダイエット
したいな



ユーザー情報を取得して
「ダイエット」に興味があり
そうなユーザーを識別する

「ダイエット」に関する
広告が届く

ダークパターンとは

- ・スマートフォンのアプリやECサイトなどで、消費者をだましたり、勘違いさせるようなデザインのことです。
- ・うっかりやってしまう人間の行動の習性を悪用して、企業がより多くの商品を買わせようとしたり、消費者の情報を取得するために用いられることが多く、問題となっています。

【ダークパターンの一例】

妨害

退会の連絡は受付時間内に
必ずお電話ください。

電話

050-xxx-000

時間 平日 10-16 時

- ・登録や入会に比べて退会や解約に手間や時間がかかる。
- ・電話番号しか解約の手段が書いていないのに混み合っていてつながらない。

こっそり

いつでもやめられる！

初回

980 円



☒ 定期で購入する

- ・カートに商品をこっそり追加する。
- ・お試し期間終了後、消費者の同意を得ずに契約を自動更新にする。
- ・最初から「定期購入」にチェックが入っている。

緊急性

本日の特典！

19800 円



先着 50 名様

残り時間 45分30秒 受付

- ・残りわずか、在庫が少ないなど表示して申込みを急がせる。
- ・割引期間の終了をカウントダウンタイマーで表示する。

事例3 SNS の口コミ投稿

私は※インフルエンサーとして活動中。ある企業から SNS のダイレクトメッセージが届き「当社のイヤホンの口コミやレビューを、あなたの SNS に投稿して宣伝してくれれば報酬を払う」という依頼があった。具体的に投稿する内容を指示されたが問題ないか。

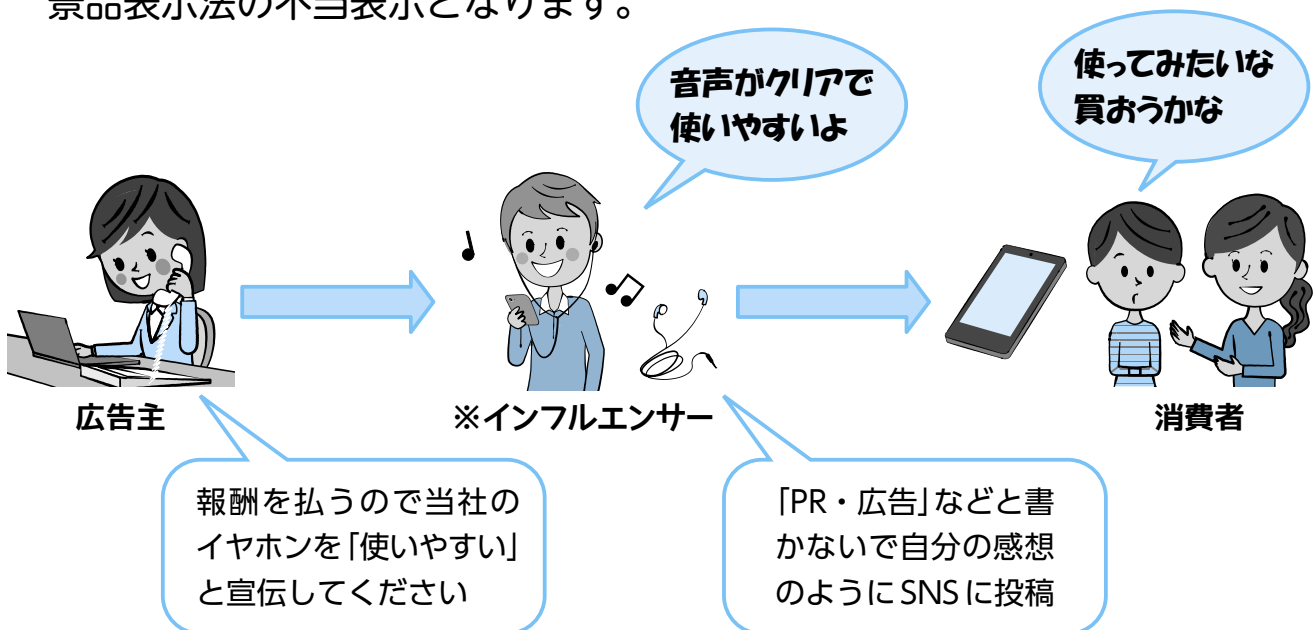
※インフルエンサー：SNS やブログなどで多くのフォロワーを持ち、発信する情報や意見が多くの人に影響を与える人物

アドバイス

- ・「事業者から報酬を受け取り、公平な消費者の感想や意見を装って、商品を推奨する表現をすること」は「ステルスマーケティング」にあたり、規制対象となります。

ステルスマーケティング（ステマ）とは

- ・広告主が広告であることを隠したまま行う広告で「ステルス（隠した）マーケティング（宣伝）」と呼ばれています。
- ・「一般消費者が事業者の表示であることを判別することが困難な表示」は、景品表示法の不当表示となります。

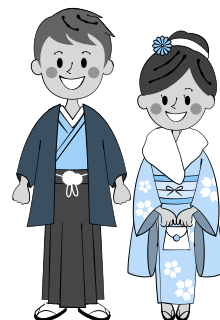


★ネットの情報を鵜呑みにせず信用できるのか確認する習慣をつけましょう。

18 歳から成年です

💡 2022 年 4 月から、成年年齢が 20 歳から「18 歳」に引き下げられました

未成年者が親権者等の同意を得ずに契約した場合には、民法で定められた未成年者取消権によってその契約を取り消すことができますが、**成年 (=18 歳以上) になって結んだ契約は、未成年者取消権の行使ができなくなります。**



💡 若者が巻き込まれやすい消費者トラブル

美容医療に関する契約トラブル、マルチ商法・サイドビジネス商法といった儲け話に関するトラブル、レスキューサービス (害虫駆除や水漏れ修理) の高額請求トラブルなどがあります。

こうしたトラブルに、成年になったばかりの 18 歳・19 歳も巻き込まれるおそれがありますので注意が必要です。

1 月から 3 月は『若者向け悪質商法被害防止キャンペーン』期間です

怪しいと気づかなければ悪質商法の思うツボ。うまい話には、ご用心！

《消費者トラブルは自分には関係ない、と思っていませんか？》

最近の若者を狙う悪質商法では、SNS 等を悪用した手口が増加しています。悪質商法等のトラブルは身近に潜み、誰もが被害に遭うおそれがあります。被害に遭っても自分に落ち度があると感じて、相談せずにあきらめてしまう人も多いようです。

困ったら、一人で悩まず、すぐに台東区消費生活センターへご相談ください。



台東区消費生活センター

相談専用電話 **03-5246-1133**

受付時間 月～金 午前9時～午後4時まで

受付場所 台東区役所9階 ⑦番窓口

相談できる方 台東区内在住、在勤、在学の方

トラブルにあった時は
早めにご相談ください。

電話または来所による相談です。
相談無料・秘密厳守です。

